

2017年学術委員会企画シンポジウム / 第5回学術研究優秀賞について

第32回日本脊髄外科学会での学術委員会企画シンポジウムは、これまでと同様に、基礎研究に関する教育講演と、公募演題によるシンポジウムの二部形式で開催します。本シンポジウムは、脊椎・脊髄の基礎研究の普及と推進を目的としています。

第一部では、教育講演として京都大学大学院医学研究科神経生物学の西村幸男先生から、大脳皮質-脊髄間の神経回路と介在ニューロン系に関する最新的话题を、神経生理学の立場からお話していただけることになりました。ヒトの四肢・身体を実際にコントロールする部位は脊髄であり、脊髄疾患の病態と臨床生理を理解する上で、極めて有用な内容のご講演になると思われます。

第二部は、応募演題から選出した基礎研究の発表となります。シンポジウム演題の募集は、純粋な基礎研究に限らず、次のように臨床に関連したものを含めて募集いたします。

1) 脊髄損傷の病態生理と新たな治療手段、2) 脊髄疾患に対する移植治療、3) 神経再生に関する基礎研究、4) 脊椎脊髄の画像解析、5) 新しい手術支援機器の開発、6) 新しい脊髄機能モニタリング方法、7) 脊髄機能の臨床生理、8) 髄液循環と脊椎脊髄、9) 末梢神経の再生に関する基礎研究、10) 脊椎・脊髄・末梢神経の微小解剖、11) 脊椎脊髄疾患の遺伝子解析、等

また、基礎研究では、既に当学会で発表されたテーマでも、新たな知見が得られた場合には、その後のup-dateとしての発表でもかまいません。

応募いただいた演題は、学術委員会によって抄録を厳正に審査して、シンポジウム演題を数題決定いたします。シンポジウムに選出された演題は、さらに最優秀の発表を当日、審査によって決定し、第5回学術研究優秀賞として、副賞（10万円）とともに表彰いたします。会員の皆様、こぞって応募をよろしく願いいたします。

日本脊髄外科学会 学術委員会
委員長 小柳 泉